① 大分臨海工業地帯

高度経済成長期の昭和39年に新産業都市の指定を受け、鉄鋼、石油化学等の重化学工業が集積しており、近年では半導体、電子・電気機器、医療機器等の企業が立地するなど、様々な産業が集積しています。

② 志村中小企業工業団地

本市が事業主体となり、昭和51年から昭和54年にかけ、用地買収・造成等を行い、昭和54年から分譲を開始しました。分譲面積は、16.1ヘクタールで、平成元年に分譲が完了しています。

③ 大分工業団地(下郡工業団地)

大分工業団地協同組合連合会が事業主体となり、昭和37年から昭和38年にかけ用地買収等、昭和38年から昭和41年にかけ造成を行い、昭和41年から分譲を開始しました。分譲面積は、18.4ヘクタールで、昭和43年に分譲が完了しています。

④ 大分流通業務団地

詳細はこちらから

大分県：大分流通業務団地のご案内のページ